

子ども用遊具を名張市に寄贈 近畿環境サービス

2021年3月27日



【寄贈式に出席した望田社長（左から2人目）ら＝名張市鴻之台1で】

三重県名張市下比奈知に事業所があり、堆肥化施設などを運営する「近畿環境サービス」（本社・大阪市）は、子ども用遊具「エアクライミング」を市に寄贈した。市内の保育所などで順番に使われる。

地域貢献を目的に、手数料の一部で公共機関などに物品を贈る三重銀行のSDGs私募債を利用。寄贈した遊具は、組み立てると壁状になり、空気を抜くと持ち運びができる。

3月25日に市役所であった寄贈式で、同社の望田昭博社長は「子どもたちの体づくりにつながるものをと、市の担当者と相談して決めた。ぜひ役立ててほしい」と話し、亀井利克市長は「子どもたちの健康づくりに役立てたい」と感謝を述べた。